

第5回 就学前施設における教育・保育と子育て支援計画  
(公立の認定こども園の整備) についての市民説明会 概要

日 時 平成 27 年 10 月 30 日 (金) 午前 10 時～11 時 30 分  
会 場 曙川コミュニティセンター  
参加者 市民 29 人  
こども未来部職員 6 人  
教育委員会事務局職員 5 人

A 1 適正規模について、主観ではなく科学的根拠を示して欲しい。

Q 1 科学的根拠というものではありませんが、これまで国で検討されてきたことや学識経験者の意見から、小規模集団では、人と触れ合う経験やいろいろな体験の機会が少なくなってきたり、かつてのような地域での育ち合いを幼稚園や保育所が担っていかねばならない現状があります。

また、八尾市では、専門家を交えた幼稚園審議会において、この時期の子どもの育ちにとっての集団規模は 20 人～35 人の複数学級が望ましいという答申をいただいていることを踏まえて、今回の計画としました。

ご指摘いただいている異年齢間の交流や地域との交流などについては、認定こども園におきましても実践していきます。

Q 2 保育は保育士に、幼稚園は幼稚園教諭に任せたいと思います。職員の配置を教えてください。

A 2 八尾市が整備を進めている公立の幼保連携型認定こども園では、教育・保育の従事者は、幼稚園教諭免許と保育士資格を併有する「保育教諭」となり、乳児・幼児に関わらず保育教諭が担任となり教育・保育にあたります。

職員配置は、八尾市の公立保育所の配置の方針に沿い、4、5 歳児は 30 人に対して 1 人の保育教諭を配置します。公立幼稚園では、園児 35 人に対して 1 人の教諭が配置されていることと比べて、充実した配置となります。

また、1 号、2 号認定の園児のいる 3 歳児以上のクラスには、利用時間の意違いなどに配慮できるように副担任的な保育教諭の配置を考えており、これまでの公立幼稚園・保育所よりも充実した職員配置になるものと考えています。

Q 3 説明会にどれだけの税金を投入しているのですか。

A 3 実際に積算をしておりませんが、説明会用の資料作成と職員の人件費が主な経費となります。市民や保護者の皆様にご理解いただけるよう各中学校区での説明会を実施させていただき、経費が無駄にならないようにしたいと考えています。

Q 4 上の子が小学校 3 年生で曙川幼稚園に通い、下の子も通わせる予定であったが、どこに通うことが出来るのかわかりません。将来は、曙川小学校へ入学させる予定です。

A 4 公立幼稚園は、5 つの引継ぎ園以外の園は平成 30 年度末をもって全園廃園とする計画です。

平成 30 年度には園区はなく、どの地域からも引継ぎ園へ応募していただけます。

曙川南中学校区では、平成 28 年度にあけぼの保育園、あけぼの第二保育園、あひる保育園が認定こども園となり、今後、他の中学校区にも民間の認定こども園ができ、1 号認定の子どもの応募ができるものと考えています。

Q 5 幼稚園の園舎は耐震工事して立派な建物です。跡地活用はどのように考えているのですか。

A 5 教育委員会では、平成 27 年度末にかけて、児童の安全確保の観点から学校施設の耐震化を進めてきました。廃園後の公立幼稚園については、多くの幼稚園が小学校に隣接している点を踏まえ、対策が求められている放課後児童への活用等、子ども施策への活用として検討したいと考えています。

Q 6 0～2 歳児の希望が 1 番多いので、定員を増やすべきではないですか。また、待機児童について教えてほしい。

A 6 特に、1、2 歳児の入所申込みが集中しており、平成 27 年 4 月 1 日現在、19 人の待機児童がいます。この 19 人を含めた 138 人が保育所に申し込んだが入れなかった人数となり、128 人が 0～2 歳児、10 人が 3～5 歳児となっています。

保育所入所の申込みをしたすべての子どもさんに入所していただけるよう、平成 28 年 4 月に向けて、民間保育園の新設と 0～2 歳児を対象とした分園設置を進めています。

また、平成 30 年度には認定こども園への移行を予定している私立幼稚園があり、1 号、2 号認定の受け入れをしていくことになります。

なお、国では、「他に入所可能な保育所があるにも関わらず、特定の保育所を希望し、保護者の私的な理由により待機している場合には待機児童には含めないこと」としていますので、八尾市でも、1 か所だけご希望された方で入所できていない場合については、待機児童に数えていません。

Q 7 公民で 1 つ以上ではなく、公立の認定こども園を中学校区に 1 つつくるべきだと思います。

A 7 公立幼稚園の歴史は古く、公立としての役割を担ってきましたが、保育ニーズが増えてきているなか、受け入れ枠の確保については民間施設の協力のもと拡充しているという現状です。

民間施設においても、公立と同じように、これまでも子どもの育ちを支え、小学校へとつないでおり、これからも続いていくことになります。その中で、公立としては、認定こども園として教育・保育の質の向上について考え、民間施設と連携して教育・保育の実施や、子育て支援を充実させる基幹的な役割を担っていきます。

Q 8 3 歳児では保育所には入れないので、幼稚園に仕事をしながら通わせている方がいる。平成 31 年度、認定こども園に 3 歳児は入園しやすくなるのですか。

A 8 3～5 歳児では、入所定員に達していない現状があります。3 歳児以上については、小学校入学に向けた大事な時期だと認識しており、申込みされるすべての方に入所していただけるよう、来年度は入所枠を 305 人増やす計画です。

特に4、5歳児が入所できない状況にならないよう、公立の幼稚園と保育所の認定こども園への再編や、私立幼稚園の認定こども園への移行により、受け入れ枠を十分に確保していきたいと考えています。

Q 9 曙川幼稚園区に住んでおり、平成 29 年度に4歳児になる子どもがいるが、引継園である南山本幼稚園に入ることはできないのですか。

A 9 曙川幼稚園については、10月7日現在、20人の応募状況であり、この園児数のまま推移し平成28年3月末に確定すると、休園措置とはなりません。

仮に、平成27年、28年連続して4歳児の応募が15人未満となり休園が決定した場合、平成28年度の10月に2次募集をいたします。二次募集において、現状の園児数や保育室数から、保護者が希望する他の公立幼稚園への入園は可能であると考えています。

Q 10 施設を整備していくことの説明は充分なので、ソフト面の教育・保育内容の充実について教えて欲しい。

A 10 現状の公立幼稚園や保育所に満足しているというお声をいただいていることは、ありがたいと思っています。認定こども園での教育・保育については、現場の幼稚園教諭と保育士が専門的な視点で検討を進めているところで、生きる力の基礎を育てるために必要な経験や活動に関して具体的に考えています。

少子化が進む中、人と関わる経験が少なくなってきたことを踏まえ、認定こども園では多くの大人からの温かいまなざしのもと、集団活動を通して互いの思いを伝えあったり、自分たちでルールを考えて遊びを作ったり、時には葛藤体験を経験するなど、小学校や中学校での生活や学習につながる育ちの基礎となる経験や活動を大事にしたいと考えています。

また、公立の認定こども園での実践研究や研修等を情報提供することにより、民間にも活用していただき、八尾市全体の就学前の教育・保育の質の向上につなげたいと考えています。

Q 11 平成 30 年に4歳児で公立幼稚園に行きたいが、どこにいけるのかわからない。また、希望するところに必ず行くことができるのですか。

A 11 平成 30 年度の4歳児は、志紀、南山本、東山本、長池、安中の5つの引継ぎ園でのみ、募集することになりますが、この時には園区は撤廃しています。

また、近隣の認定こども園や民間の幼稚園においても、1号認定の受け入れ枠がありますので、保護者の方に選択していただくということになります。

Q 12 認定こども園の満足は、本当に高いのですか。

A 12 平成 27 年 3 月に全国的に行われた満足度調査では、54%の保護者の方が認定こども園に満足していると回答されています。また、すでに認定こども園になっている園の保護者の方の8割、施設の9割が認定こども園に移行して良かったという結果が出ています。

保護者からは、就労の状況が変わっても転園をしなくて良い、柔軟に利用時間が選べるといった意見や感想が多くあります。

施設にとっては、集団規模が確保できることや、子育て支援を充実できるといった意見があります。

八尾市としましても、子どもの育ちにとって認定こども園が良いものであると考えており、質の高い教育・保育を提供していきたいと考えています。

Q13 園区をなくして本当に良いのですか。幼、小連携や地域と連携してこれまでやってきたのに、地域と子どもたちとの関係が希薄になると思います。

A13 公立幼稚園は、小規模化により教育環境の確保が困難になってきているという課題があります。少子化の進行と保育ニーズが高くなっている現状のなか、公立の施設は認定こども園に再編し、公民が連携して八尾市の子どもたちの育ちを支えていくということが今回の計画であり、説明を尽くさなければならないと考えています。

仕組みが大きく変わる過渡期ですので、子どもたちにどのような配慮が必要かを考え、職員の資質の向上のための研修を行いたいと思っています。

また、地域や小学校との連携については、平成31年度に向けて検討を進めていますが、31年度以降も検討を重ねていきたいと考えており、ご理解いただきますようお願いいたします。

#### その他の意見

○現在の公立の保育所運営に満足しているし、小規模園に賛成です。

○公立保育所、幼稚園を全廃することで、第二子を考えていたがためらっている。

○公立保育所、幼稚園を全廃することに反対で、残して欲しい。